令和5年度総合制作実習成果物表彰

『高齢者福祉施設のランドスケープ』

優秀賞受賞

（2年連続5度目の受賞）

当機構において、全国の職業能力開発大学校及び短期大学校での総合制作実習の成果物のうち、特に優れたものを選定し、その成果をたたえるという制度があり、令和5年度で11回目となります。令和5年度は総合制作実習の成果物を各校から1点、全国から23作品が推薦され、当校から推薦した「高齢者福祉施設のランドスケープ」が2位に相当する優秀賞を受賞しました。当校としては2年連続5度目の受賞となります。この実習成果物は、高齢者福祉施設と共に取り組んだ課題であり、施設で使われていない約2,500㎡の敷地を活用し、高齢者が自主的に散歩したくなるランドスケープを提案することを目的としたテーマとなっています。

ランドスケープの提案を行うにあたり、現状調査としてドローンによる敷地調査など最新の技術を駆使しつつ、認知症療法の一つである「回想法」を提案に取り入れており、創意工夫に富んだ内容であることが評価されました。

また、「福祉デザインの学生コンペ」に応募し、そのうえで施設への提案、建設業者との打合せ、見積の提出などを実施しており、自治体、福祉施設に加え、まちづくり協議会や地元企業とも連携した取り組みであり、素晴らしい地域連携課題であることなどが高く評価されました。

受賞した野口さん（左）と指導した竹口先生（右）